

パキスタン地震の被災者支援を行うNGOへの携帯電話貸し出しについて

～ボーダフォン3G携帯電話を無償で貸し出し～

ボーダフォン株式会社(本社:東京都港区、社長:ビル・モロー)は、2005年10月8日(土)にパキスタン北部で発生した地震被災者の支援を行う日本のNGO(non-governmental organization、非政府組織)に対し、地震発生翌日の9日(日)より、国際ローミング対応のボーダフォン3G携帯電話を順次貸し出しています。

ボーダフォンでは、社会貢献活動の一環として、地震や風水害などの大規模災害の救援活動を行う支援団体に対して、無償でボーダフォン携帯電話の貸し出しを行っています。また、その際の通話料および通信料はボーダフォンが負担します。

今回のパキスタン北部で発生した地震では、「国境なき医師団日本」や「ジャパン・プラットフォーム」をはじめ、4団体のNGOに対して、10月19日(水)現在で、合計36台の携帯電話を貸し出しています。

<ボーダフォン3G携帯電話の主な貸し出し先NGO>

◎「国境なき医師団日本」(12台)

国境なき医師団は、民間の国際緊急医療・人道団体です。年間3,000人余りの医師、看護師、助産師らが世界中で援助活動を続けており、1999年にノーベル平和賞を受賞しました。独立・中立・公平の理念のもと、助けを必要としている人々のもとへ向かい、人種や政治、宗教の別にかかわらずわけへだてなく援助を届けます。

<http://www.msf.or.jp/>

◎「ジャパン・プラットフォーム」(20台)

地域紛争や自然災害は世界各国で発生しており、各国政府、国際機関、国際NGOにとって、被災者に対する国際緊急援助の強化と質の向上が大きな課題となっています。ジャパン・プラットフォームは、このような世界情勢に応え、NGO、経済界、政府が対等なパートナーシップの下、三者一体となり、それぞれの特性・資源を生かし協力・連携して、難民発生時・自然災害時の緊急援助をより効率的かつ迅速におこなうためのシステムです。

<http://www.japanplatform.org/>

また、今回の地震被災者支援のため、ボーダフォングループではユニセフに10万ポンド、テレコム・サンズ・フロンティアに2万ユーロを義援金として寄付しました。

この度の地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。今後もボーダフォンでは、CSR(Corporate Social Responsibility)推進活動について、積極的に取り組んでいきます。

以上

- Vodafone は、Vodafone Group Plc の登録商標です。